

清らかな源流の里 県南農林だより

第16号



農林業関係の動き

■牛乳・乳製品利用技術講習会が開催されました！



1月17日(火)、白河市市内において、女性農業者で組織する「西白河生活改善グループ連絡協議会」が「牛乳・乳製品利用技術講習会」を開催しました。

本講習会は、県牛乳普及協会の助成で毎年開催されており、今年は16名が牛乳等を材料とした家庭で作れるレシピを学びました。

当事務所の職員が講師となり、「チキンと牛乳の炊き込みピラフ」、「コクうまクラムチャウダー」、「ヨーグルトドレッシングのサラダ」と「モーミルクたっぷり甘酒プリン」の4品に挑戦しました。

乳製品は、高齢者になると摂取量が少なくなる傾向があることから、家族も喜ぶ美味しい料理を作ろうと参加者一堂、力を合わせて熱心に取り組み、楽しい講習会となりました。(農業振興普及部)

目次

農林業関係の動き

- ◇牛乳・乳製品利用技術講習会
- ◇グリーン・ツーリズムセミナー
- ◇全国鍋グランプリで審査員特別賞
- ◇林業研究グループ等発表会
- ◇西郷村山椒栽培管理研修会
- ◇農林水産業再生セミナー
- ◇県南地域いちご生産振興セミナー

コラム

- ◇県南地方の農業施設の紹介
- ◇県南地方の農地中間管理事業

お知らせ

- ◇山菜の出荷に注意
- ◇収入保険制度

■県南地方グリーン・ツーリズムセミナー

1月23日～24日に、グリーン・ツーリズムの先進地である栃木県塩谷町の「星ふる学校・くまの木」において、県南地方グリーン・ツーリズムセミナーを開催し、県内から関係者20名が参加しました。

セミナーは、「しおやグリーンツーリズム推進協議会」の和氣会長と「NPOくまの木里の暮らし」の加納事務局長よりグリーン・ツーリズムの現状と廃校活用や受入時の工夫等について講演をいただき、意見交換を行いました。あわせて、郷土料理の試食、天体観測、うどんうち体験などの研修を行いました。

「うどんうち」は小麦・水・塩があれば子供から大人まで楽しめるので、参加者からは「自分達でもできるからやってみよう！」という前向きな発言がありました。

今回訪れた塩谷町のメンバーは、グリーン・ツーリズムに積極的に関わり、生き生きと輝いている様子が印象的でした。(企画部)



大気体験プログラム
「塩谷産小麦100%うどんうち」
(おばあちゃん先生はなんと80才)

■全国鍋グランプリで審査員特別賞！



審査員特別賞
戦慄の酒粕チャウダー

1月28日(土)、埼玉県和光市で「ニッポン全国鍋グランプリ」が開催され、矢吹町の青年農業者団体「やぶきぐるぐるnowker's(ノーカーズ)」が、矢吹町産の素材をふんだんに使った「戦慄の酒粕チャウダー(鍋)」で2年連続となる審査員特別賞を受賞しました。

この鍋は、味付けのベースに、矢吹町の蔵元大木代吉本店の酒粕、酪王乳業の牛乳を使用し、具材として、地元産のトマトや椎茸、ほうれん草を練りこんだニョッキや手作りベーコンなど地元産の農産物をたっぷりと使用しています。

また、目玉に似せたうずらの卵やベーコンを焼く香ばしい香りでお客様を引き寄せる工夫をしていました。

審査員特別賞を2年連続で受賞したことで、多くの首都圏消費者に「矢吹町」を印象づけることができました。(企画部)

■林研グループ活動発表会で優秀賞！！



自らの手で里山を再生

1月31日(火)、郡山市の林業研究センターで開催された平成28年度林業研究グループ等活動発表会において、矢祭町の金沢地域里山づくり実行委員会の「里山再生プロジェクト」活動が優秀賞を受賞しました。

この会は、矢祭町金沢地区において、「自分達の地域は自分達の手で！」を合い言葉に、刈り払いや間伐等森林整備を行って、荒廃した里山林を再生する活動を行っています。また、伐採した木や県産材を利用した遊歩道や四阿あずまやの整備など、地域の環境整備にも会員自らの手で取り組んでいます。

会では今後も活動を継続し、探鳥会や炭焼き体験、森林環境学習の場として地域住民が交流できる里山に整備していく予定です。(森林林業部)

■西郷村山椒栽培管理研修会が開催されました！



ドレッシングなど様々な山椒加工品

2月14日(火)、西郷村において、村内の異業種で組織する「企業組合にしごう村夢プロジェクト」が「山椒栽培管理研修会」を開催しました。

同組合は、村の地域特産品の開発と観光との連携活性化等を目的に様々な活動を行ってきましたが、村内に自生し加工の幅も広い「山椒」に着目し、組合員数名で栽培に取り組んできました。

研修会では、取組の経過と今後の展望についての説明、山椒を使った様々な料理やお菓子の試食、山椒栽培を指導してきた村内在住の「宮田潤二郎氏」から栽培のポイントについて講演がありました。

西郷村発の「小粒でもピリリと辛い山椒」プロジェクトの発展を期待します。(農業振興普及部)

■農林水産業再生セミナーを開催

2月21日(火)、白河市立図書館において、スマート農業をテーマに農林水産業再生セミナーを開催し、農家、農業法人、J A、行政担当者等約50名が参加しました。

セミナーは、「農林水産省が推進するスマート農業」について、農林水産技術会議事務局の飯嶋渡氏から講演があり、GPSを活用した自走式トラクター、酪農用ロボット、トマトやいちごの収穫ロボットなど、実用化されているものから開発中のものまで、様々な農業用ロボットが紹介されました。また、県農業総合センターで取り組んでいる農業用ロボットの開発状況報告の後、㈱クボタと㈱イノフイスの協力でアシストスーツの実演体験がありました。装着した参加者は重量物を持ち上げてスーツの威力に驚いていました。(企画部)



アシストスーツを体験する参加者

■県南地域いちご生産振興セミナーを開催

2月24日(金)、棚倉町において、当地方の主力農作物であるいちごのより一層の振興を図るため、県南地域いちご生産振興セミナーを開催し、生産者や関係者等約40名が参加しました。

最初に、いわき市中央卸売市場「^{へい}柿平果」鈴木代表取締役専務より講演があり、県南地方のいちごは買い手に喜ばれる品質で、今後とも安定出荷して欲しいと発言がありました。

続いて、県農業総合センターの小林主任研究員から光利用技術について、また、関係機関から販売情勢や県育成品種「ふくはる香」の生産振興計画についての説明がありました。

当地方のいちごは、栽培面積約8ha、販売額約3億円強と県内を代表する産地であり、近年は、若手農業者の参入も進み、今後の成長が期待される農作物です。(農業振興普及部)



セミナーの様子

コラム

■県南地方の農業施設の紹介【第9回】「羽鳥ダム」

「羽鳥ダム」は日本海に注ぐ鶴沼川を、天栄村羽鳥地区でせき止めて造築した農業用ダムであり、国営白河矢吹開拓事業として昭和16年に着工し、昭和31年に完成しました。

ダム誕生の歴史を紐解くと、天保元年(1830年)に庄屋の次男として大和久村(現矢吹町大和内)で生まれた星吉右衛門が当時打ち立てた「西水東流」構想に始まります。星は、痩せた原野だった矢吹が原大地を潤そうと、羽鳥疎水の整備について「建白書(明治18・30年)」にとりまとめました。しかし、莫大な事業費を理由に計画は見送られ、星はその実現を見ることなく亡くなりましたが、国が構想を引き継ぎ大正13年に計画をとりまとめ、一大プロジェクトが動き出したのです。

整備された現在のダムの型式は中心遮水ゾーン型ロックフィルダムで、堤高は37.1m、堤長は169.5m、矢吹町、白河市(大信地区)、泉崎村、中島村など7市町村の水田約3,200haを潤します。ダム管理は羽鳥ダム管理事務所(農林水産省)が行い、羽鳥疎水の管理は矢吹原土地改良区が行っています。平成28年は記録的な渇水で、水稻への影響が心配されましたが、矢吹原土地改良区の適切な取水管理により、大きな減収をすること無く乗り切ることができました。(農村整備部)



羽鳥ダム

■県南地方の農地中間管理事業の推進状況

平成26年度に担い手への農地集積を図るため始まった農地中間管理事業を推進するため、今年度、農地中間管理機構から県南地域の担当として「添田末次地域マネージャー」が当事務所に配置されています。

当事務所では、添田マネージャーと緊密に連携しながら、重点対象19地区を中心に、市町村やJA等関係機関とともに事業に取り組み、中心的な担い手の育成・確保をはじめ、集落営農組織や農業法人等への安定経営のため農地中間管理事業への誘導を展開しています。

この中で、白河市大信の集落営農組織の法人化に向けた説明会の開催や棚倉町玉野集落で集落営農型農業法人の立ち上げが間近に迫るなど、本事業の推進と併せて地域営農を担う組織が次々に誕生しつつあります。

なお、平成28年度の農地中間管理事業の貸付等実績は、「貸付件数30件」「貸付面積71.3ha」となっております。(平成29年1月末現在、県南農林事務所調べ)

本事業は、地域農業の持続的な発展に寄与するものです。今後とも、各集落の事情に沿った方策を同マネージャーと検討しながら進めてまいりますので、農業者の皆様のご相談等をお待ちしています。

【連絡先】 県農業振興公社県南地域マネージャー 電話0248(23)1568 携帯080(3754)3069
県南農林事務所農業振興普及部地域農業推進課 電話0248(23)1562



集落座談会での事業説明(白河市旗宿)

お知らせ

■山菜の出荷に注意してください！！

県内では、出荷制限指示が出ている山菜が直売所等で出荷・販売されるといふ事案が発生しています。県南地方では、右表のとおり出荷の制限指示が出されていますので、出荷制限品目が出荷されないよう注意願います。

※近隣市町村(他県を含む)は下記ホームページ等でご確認ください。

福島県の情報

福島県外の情報(林野庁)

品目	市町村
たけのこ	白河市、西郷村
たらのめ (野生の物に限る)	白河市、西郷村、泉崎村、 塙町、鮫川村
わらび	鮫川村
こしあぶら	全市町村

■青色申告を行っている農業者を対象とした収入保険制度のお知らせ

農林水産省では、平成31年度から新たな保険制度の導入を決定しました。

自然災害による収量減少だけでなく価格低下も含めた収入減少を補填する保険制度です。

○青色申告を行っている農業者が対象となります。

○初年度から加入を希望する農業者の方で青色申告を行っていない方は、平成29年3月15日までに「青色申告承認申請書」を税務署に提出する必要があります。

【お問い合わせ先】 収入保険制度 県農林水産部農業経済課 ☎024-521-7349

青色申告については、最寄りの税務署にお問い合わせください。

農林業に関する相談などお気軽にご連絡ください！

福島県県南農林事務所 企画部

〒 961-0971

住所 福島県白河市昭和町269[白河合同庁舎]

電話 0248-23-1577

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36230a/>

平成29年3月6日発行

